



◆椎田中の「美術」の末吉 眞二先生が描かれた2冊の「絵本」を紹介します！

月とダイゴくん



絵本の「帯」

前向きなきもちになって、マイナスなこともプラスにかえる  
神さまがあたえてくれた「違い」の意味を、  
ダイゴくんたちが教えてくれる絵本

手と足があるダイゴンのダイゴくんと妹のチイはお店で捨てられてしまいます。マイナス思考だったダイゴくんとチイヤ、なかまのニンジンさんとカブさんは、お月さまの話聞いて、自分たちのやくわりに気が付きました。お店にもどってみると……。



「帯」とは… 本の表紙カバーの上に帯のように巻いてある細い紙のことで、別名で「腰巻」とも呼ばれます。読者にその本の魅力をアピールし、内容の紹介や著名人による推薦文などの言葉を記載します。

通信にのせる承諾も先生に得ています！

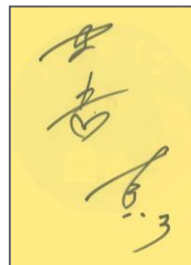
もう～いいかい



こうきしん いっぱいの ドングリのシラカシくん。  
ちじょうにおりて いろんな なかまと であいます。  
ある日 シマリスさんとの あいだに じけん はっせい。  
「もう シマリスさんとは  
ともだちじゃない！」 仲間との  
友情ときずなの物語

青く すきとおった秋の日。  
ドングリのシラカシくんが  
雲さんにおねがいします。  
「ねえ ねえ 雲さん!!」  
ボクを下へおとしてください。」  
雲さんは  
「まだ はやいんじゃないかい？  
下の世界は  
君には きげんなことが  
いっぱいあるよ。」  
とこたえます。  
「でもボクは  
べつなドングリのともだちとも  
いっぱい あそびたいんだ。  
そして  
下の世界も はやくみてみたい。」  
といいます。  
雲さんは  
「ほんとうに いいんだね。」  
といいました。  
シラカシくんが  
「うん。」というと  
雲さんは  
くちを大きくふくらませ  
シラカシくんにもかって  
ヒューッと  
強い風をおくりました。

■ 末吉先生が、2冊の絵本をサイン付きで「椎田中学校の図書室」に寄贈してくださいました。ありがとうございました。私は、末吉先生が絵本を出しているとは知りませんで、読ませていただき、先生のやさしさや私たちに伝えたい大切なメッセージを感じました。そして、涙が出ました。図書室にあります！ 絵も素敵です。皆さんの“感性”でぜひ読んでください。読んだ後は、末吉先生に感想を伝えてくださいね！ お礼とともに。



サイン